

ガーナでそろばんプロジェクト44号(2015年9月6日)

揺るぎない気持ちを持って活動を続けていこうと改めて思った授業と講演会★

今夏、日本に一時帰国をした際に、小中学校5校、大学生の勉強会の講師、そして「協賛頂いているトモエそろばんさんの社屋に於いての講演会と貴重な機会を頂いてたくさんの方々にはガーナでの活動を話させて頂きました。また、8月の終わりに、海外青年協力隊「JICA」の隊員総会に於いても、ガーナでの活動そして苦悩をお話させて頂いていただきました。このように、学校や勉強会の講師として出向き話させて頂いて頂く事はたいへん有り難いことです。また、私自身もとても勉強になります。今回、どの学校、会場でも参加した皆さんに見て頂いたものに3分一寸の動画「ガーナでそろばんプロジェクト」があります。2011年に始まったそろばんプロジェクトの様子を現在に至るまでギュッと凝縮して紹介しているものです。私の授業を受けた小学生の感想文の中には、感想文の脇の余白に、そろばんをやっているガーナの子どもの絵が描いてあるものも多くありました。今回、私が授業をした小中学生は、そろばんをやっていることもは少なくそうした中、ガーナの子どもがそろばんをやっている姿にとっても驚いたのだと思います。“毎日が失敗と再チャレンジの連続です”動画の中に、決して“これで良いんだ”という満足したことのない思いを伝えていきます。けれども失敗してもまたチャレンジしていくという前向きな揺るぎない気持ちです。小学生の感想には、命の大切さもお話したこともあり、それについても書かれておりましたが、このチャレンジについても書いている男の子がいました。“国分さんは、教室は間違えるところで、間違えてもはずかしくないんだよと言っていてくれていたような気がします。ぼくもこれから失敗することを恐れないでチャレンジしていこうと思いました”とありまし

た。ガーナの子どもたちがそろばんを取り組む姿、そろばんを指導する私の姿を授業を受けた子どもたちがそれぞれ思い思いに感じてくれたことを嬉しく思いました。また、トモエそろばん様主催の講演会で参加された方のお声の中に、教室の生徒さんが一人だけになってしまい教室を閉めようかと悩んでいらした方が、私の話を聞いて、閉めずに続けて頑張ろうと思ってくれた方がいたことを藤本代表から聞き、私自身とても励まされ、これからもチャレンジし続けていこうと改めて思いました。7月、そして8月ととてもよい機会に恵まれお話しさせて頂いたことに改めて感謝いたします。ありがとうございます。

報告 TOSHIKO



協賛

トモエそろばん様